

第22回「県内企業景気動向調査」結果 (平成22年2月調査)

※2月調査はアンケートのみの簡易調査です。

【景気動向調査の要旨】

- ◆ 県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I 値（「自社の業況」D I 値）でみて、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。但し「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲21.9となっており、前回調査時点（平成21年11月）と比べて7.3ポイント回復した。
- ◆ 業種別では、卸・小売業を除いた業種で自社の業況D I 値が回復。とくに製造業では23.9ポイント（▲36.3→▲12.4）と大幅に回復した。
- ◆ 地域別では、置賜地域を除く5地域で前回調査時点と比べてD I 値が上昇するなど、各地で景気は回復基調にある。特に村山北部地域ではD I 値の回復幅は24.6ポイント（▲40.9→▲16.3）と最も大きい。また最上地域では2期連続でD I 値がプラスで推移した。
- ◆ なお業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲31.5で再び悪化となっており、先行き不安感が根強く残っている。とくに建設業では43.8ポイント下落（▲15.7→▲59.5）し、大幅に悪化する見込み。

【特別調査の要旨】

- ◆ 平成21年10月以降に実施した雇用調整について
県内企業の3割で残業規制を実施。（前年とほぼ同水準）
雇用調整が「従業員の削減」から「ワークシェアリング」へシフトしてきている。
- ◆ 新規学卒者の採用状況について
新卒採用を実施した企業数は減少。但し、新卒採用を実施した企業では採用人員を増やしたところが多い。
新卒採用を増やした企業は製造業が多く、建設業では人員を十分に確保できず。

平成22年3月

株式会社荘銀総合研究所

I. 山形県の景気動向

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I値（「自社の業況」D I値）でみて、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。但し、「自社の業況」D I値（前年同期比）は▲21.9となっており、前回調査時点（平成21年11月）と比べて7.3ポイント回復した。

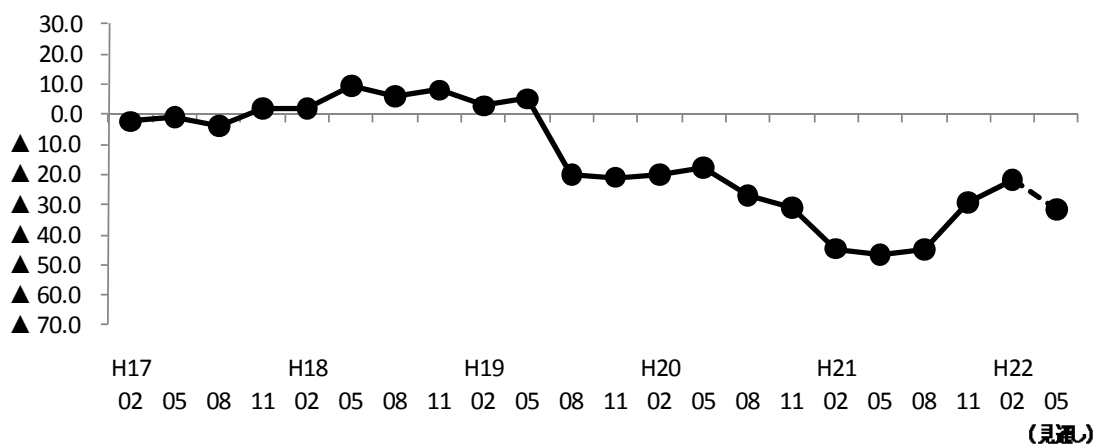
なお、業況の先行き見通しは、自社の業況D I値が▲31.5で再び悪化の見込みとなっており、先行き不安感が根強く残っている。

各D I値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲31.0	(▲23.4)	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H 21.02	▲44.6	(▲41.0)	▲41.5	▲39.4	▲27.1	▲31.8
H 21.05	▲46.6	(▲45.0)	▲45.4	▲42.7	▲26.1	▲33.7
H 21.08	▲45.0	(▲30.2)	▲44.5	▲39.4	▲24.0	▲29.7
H 21.11	▲29.2	(▲14.2)	▲31.8	▲22.3	▲11.3	▲21.7
H 22.02	▲21.9	(▲16.3)	▲20.3	▲20.3	▲12.3	▲20.1
H 22.05(見通し)	▲31.5	(-)	▲28.7	▲33.0	▲10.2	▲33.7

※「売上高」D I値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」D I値（前年同期比）の推移



2. 業種別の動向

(1) 建設業

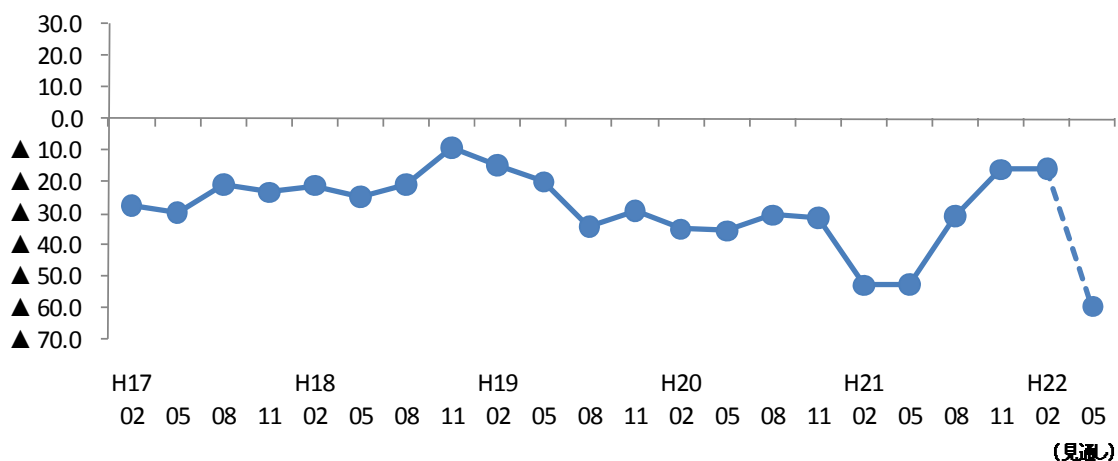
業況は、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。但し、「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲15.7となっており、前回調査時点と比べて0.4ポイント回復した。

なお、業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲59.5となっており、大幅に悪化する見込み。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)					
H 20.11	▲31.5	(▲17.7)	▲35.5	▲44.4	▲31.5	▲5.6	▲38.8
H 21.02	▲52.7	(▲43.0)	▲48.3	▲45.6	▲55.3	▲35.1	▲39.5
H 21.05	▲52.4	(▲46.7)	▲47.6	▲48.3	▲44.2	▲34.4	▲44.2
H 21.08	▲30.7	(▲30.7)	▲29.8	▲38.7	▲29.0	▲22.6	▲37.1
H 21.11	▲16.1	(▲5.6)	▲27.5	▲21.8	▲14.5	2.4	▲23.4
H 22.02	▲15.7	(▲13.2)	▲18.2	▲16.5	▲25.6	▲5.8	▲19.0
H 22.05(見通し)	▲59.5	(-)	▲57.1	▲53.8	▲59.5	▲15.7	▲50.4

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 製造業

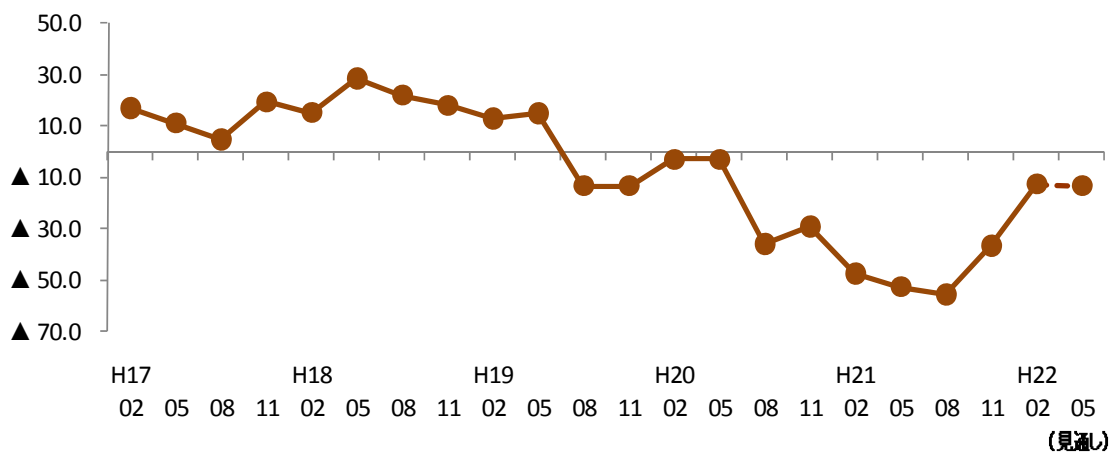
業況は、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。但し、「自社の業況」D I 値（前年同期比）は前回調査時点より 23.9 ポイントと大幅に上昇して▲12.4 となり業況は回復傾向。

また、業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲13.1 となりほぼ同水準の見通し。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前期比)						
H 20.11	▲28.8	(▲22.7)	▲19.7	▲28.0	▲72.0	▲15.2	▲27.3	▲31.8
H 21.02	▲47.2	(▲44.4)	▲44.4	▲47.2	▲12.7	▲20.4	▲43.0	▲36.6
H 21.05	▲52.4	(▲50.4)	▲51.0	▲50.3	7.9	▲31.8	▲46.3	▲35.1
H 21.08	▲55.2	(▲27.9)	▲54.6	▲52.6	6.5	▲26.0	▲46.1	▲31.8
H 21.11	▲36.3	(▲9.8)	▲37.7	▲30.0	6.3	▲25.9	▲26.6	▲25.2
H 22.02	▲12.4	(▲5.5)	▲9.7	▲14.5	▲4.8	▲15.2	▲21.4	▲19.3
H 22.05(見通し)	▲13.1	(-)	▲10.4	▲18.7	▲19.3	▲26.2	▲7.6	▲33.8

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(3) 卸・小売業

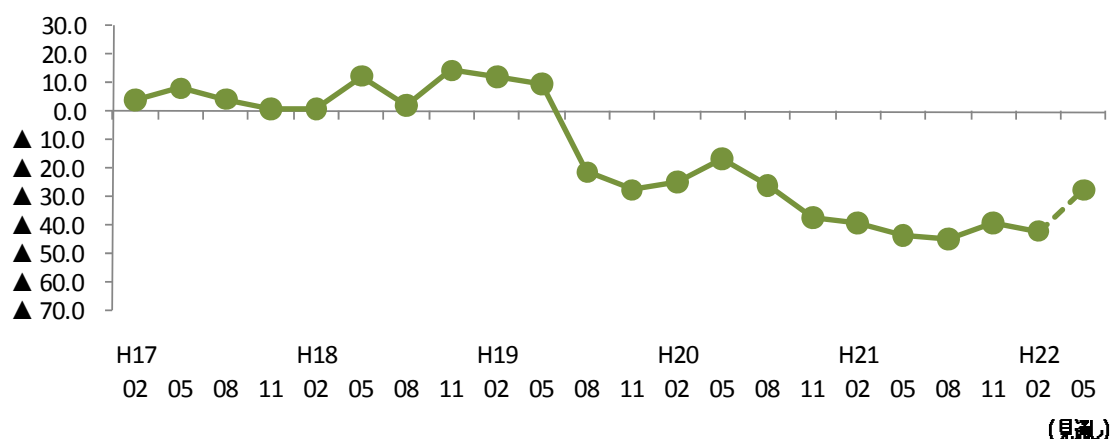
業況は、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲41.9 となっており、前回調査時点より 3.0 ポイント低下するなど、低調に推移。

但し、業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲27.4 となっており、先行き不安感が幾分和らいでいる。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)							
H 20.11	▲37.2	(▲33.3)	▲21.6	▲28.5	▲55.9	▲16.7	▲7.8	▲19.7
H 21.02	▲39.2	(▲37.3)	▲40.0	▲22.6	▲22.6	▲18.2	▲15.7	▲23.5
H 21.05	▲43.6	(▲44.5)	▲47.0	▲35.0	▲10.3	▲22.2	▲11.1	▲29.9
H 21.08	▲44.8	(▲33.6)	▲52.0	▲32.0	8.0	▲31.2	▲11.2	▲23.2
H 21.11	▲38.9	(▲25.5)	▲35.6	▲20.4	6.8	▲27.9	▲10.1	▲27.1
H 22.02	▲41.9	(▲41.1)	▲41.2	▲31.5	2.5	▲23.3	▲14.5	▲23.3
H 22.05(見通し)	▲27.4	(-)	▲22.6	▲29.8	▲2.4	▲27.5	▲11.2	▲27.5

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(4) サービス業

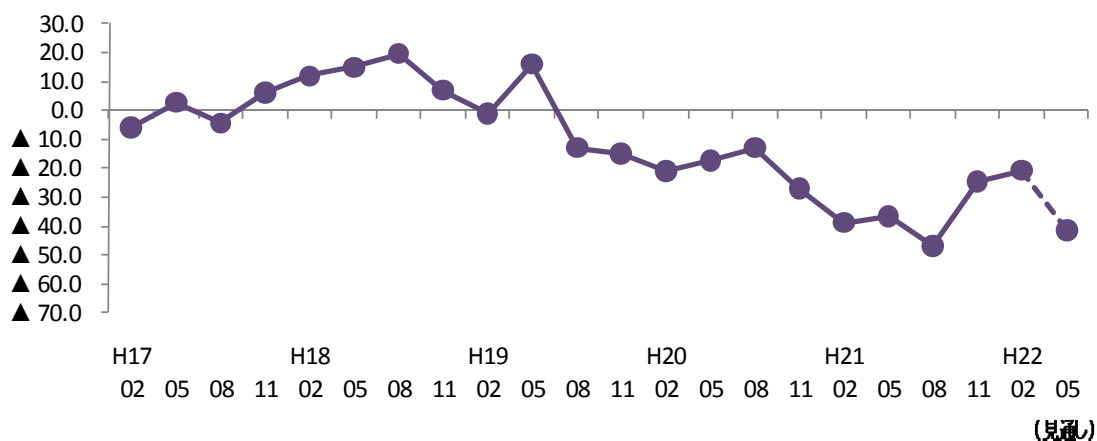
業況は、前年同期比、前期比ともに引き続き「悪い」超。但し、「自社の業況」D I 値（前年同期比）は▲20.7 となっており、前回調査時点より 3.9 ポイント回復。

なお、業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が▲41.4 となっており、先行き不安感が先行。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
		(前期比)				
H 20.11	▲27.1	(▲21.5)	▲16.9	▲32.7	7.5	▲30.0
H 21.02	▲38.7	(▲38.8)	▲32.8	▲40.5	▲12.2	▲26.1
H 21.05	▲36.6	(▲37.4)	▲35.0	▲35.0	▲7.3	▲25.2
H 21.08	▲46.7	(▲29.5)	▲39.3	▲31.1	▲10.7	▲26.2
H 21.11	▲24.6	(▲17.2)	▲25.4	▲15.6	▲8.2	▲10.7
H 22.02	▲20.7	(▲41.1)	▲13.8	▲23.2	▲3.5	▲17.2
H 22.05(見通し)	▲41.4	(-)	▲41.4	▲42.3	▲5.2	▲26.7

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



3. 地域別の動向

(1) 概況

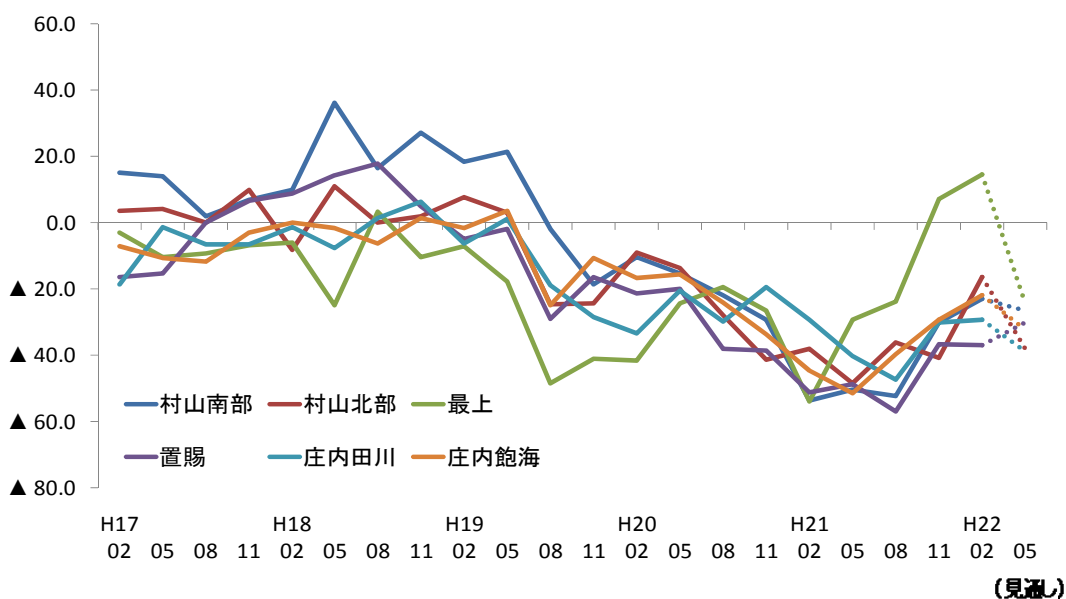
県内各地の景気動向は、「自社の業況」D I 値（前年同期比）が最上地域以外で「悪い」超ながら、置賜地域を除く 5 地域で前回調査時点と比べてD I 値が上昇するなど、各地で景気は回復基調にある。特に村山北部地域ではD I 値の回復幅は 24.6 ポイントと最も大きい。また最上地域では 2 期連続でD I 値がプラスとなった。

一方、業況の先行き見通しは置賜地域以外の 5 地域で再び悪化に転じており、依然景気悪化への警戒感が残っている。特に建設業の割合が高い最上地域の落ち込み度合いが大きい。

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）

（前年同期比） （調査時点）	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 20.11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H 21.02	▲53.7	▲38.0	▲54.1	▲51.3	▲29.3	▲44.6
H 21.05	▲50.4	▲48.4	▲29.2	▲48.7	▲40.4	▲51.5
H 21.08	▲52.2	▲36.2	▲23.9	▲56.9	▲47.3	▲39.8
H 21.11	▲30.0	▲40.9	7.0	▲36.8	▲30.2	▲29.3
H 22.02	▲22.9	▲16.3	14.6	▲37.0	▲29.3	▲21.8
H 22.05（見通し）	▲26.7	▲38.2	▲24.4	▲30.2	▲39.0	▲32.2

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移

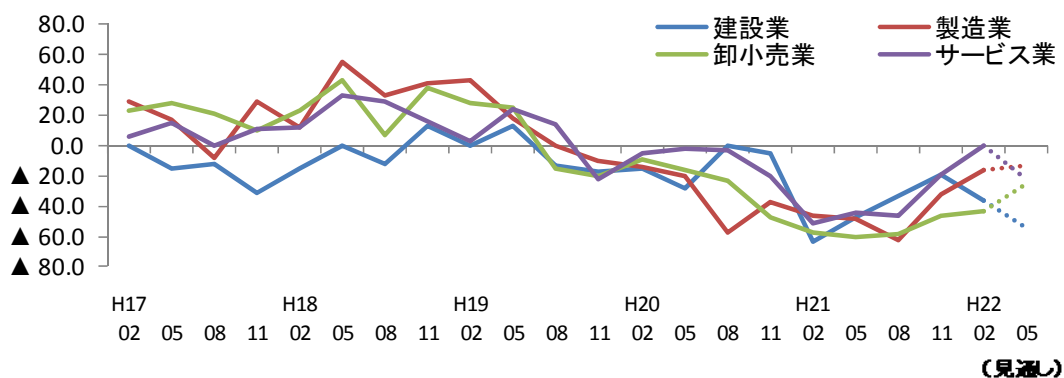


(2) 各地の主要DI値の動向

① 村山南部

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況				
	(前期比)						建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	
H 21.11	▲ 30.0	(▲ 20.0)	▲ 27.7	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 19.1	▲ 32.1	▲ 46.1	▲ 19.1	
H 21.02	▲ 22.9	(▲ 10.7)	▲ 14.5	▲ 11.4	▲ 8.4	▲ 19.1	▲ 36.3	▲ 16.6	▲ 43.5	0.0	
	変化幅	7.1	(9.3)	13.2	8.6	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 17.2	15.5	2.6	19.1
H 22.05	▲ 26.7	-	▲ 21.3	▲ 25.2	▲ 9.9	▲ 23.7	▲ 54.6	▲ 13.3	▲ 25.6	▲ 22.5	
(見通し)	変化幅	▲ 3.8	-	▲ 6.8	▲ 13.8	▲ 1.5	▲ 4.6	▲ 18.3	3.3	17.9	▲ 22.5

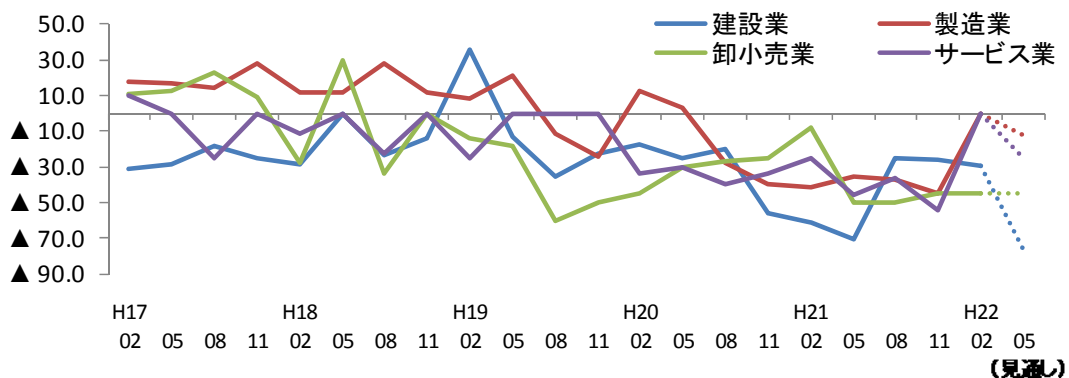
業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



② 村山北部

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況				
	(前期比)						建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	
H 21.11	▲ 40.9	(▲ 21.2)	▲ 39.4	▲ 27.3	▲ 21.2	▲ 10.6	▲ 26.3	▲ 44.5	▲ 44.5	▲ 54.5	
H 21.02	▲ 16.3	(▲ 7.3)	▲ 25.5	▲ 18.2	▲ 18.1	▲ 12.8	▲ 29.4	0.0	▲ 44.5	0.0	
	変化幅	24.6	(13.9)	13.9	9.1	3.1	▲ 2.2	▲ 3.1	44.5	0.0	54.5
H 22.05	▲ 38.2	-	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 16.3	▲ 40.0	▲ 76.5	▲ 12.0	▲ 44.5	▲ 25.0	
(見通し)	変化幅	▲ 21.9	-	▲ 14.5	▲ 36.3	1.8	▲ 27.2	▲ 47.1	▲ 12.0	0.0	▲ 25.0

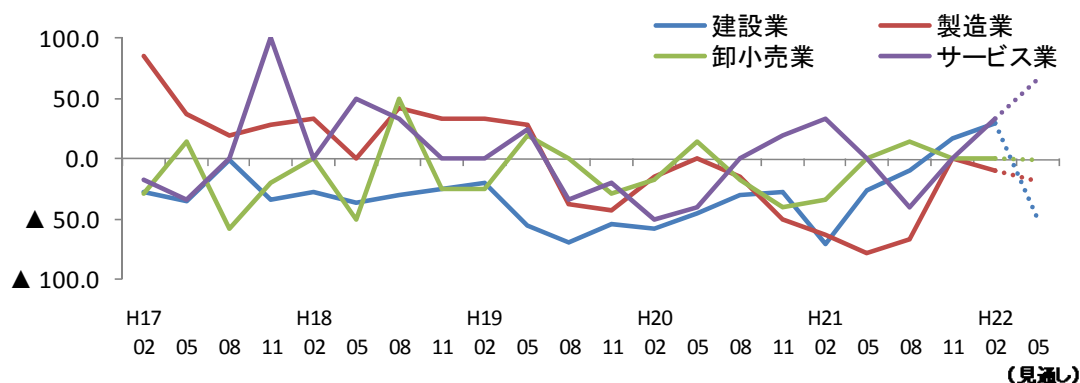
業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



③ 最上

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況				
	(前期比)						建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	
H 21.11	7.0	(16.3)	0.0	▲ 2.4	16.3	▲ 9.3	17.7	0.0	0.0	0.0	
H 21.02	14.6	(14.6)	12.2	9.7	4.9	▲ 4.9	30.0	▲ 9.1	0.0	33.3	
	変化幅	7.6 (▲ 1.7)	12.2	12.1	▲ 11.4	4.4	12.3	▲ 9.1	0.0	33.3	
H 22.05	▲ 24.4	-	▲ 24.4	▲ 39.0	▲ 4.9	▲ 39.0	▲ 50.0	▲ 18.2	0.0	66.7	
(見通し)	変化幅	▲ 39.0	-	▲ 36.6	▲ 48.7	▲ 9.8	▲ 34.1	▲ 80.0	▲ 9.1	0.0	33.4

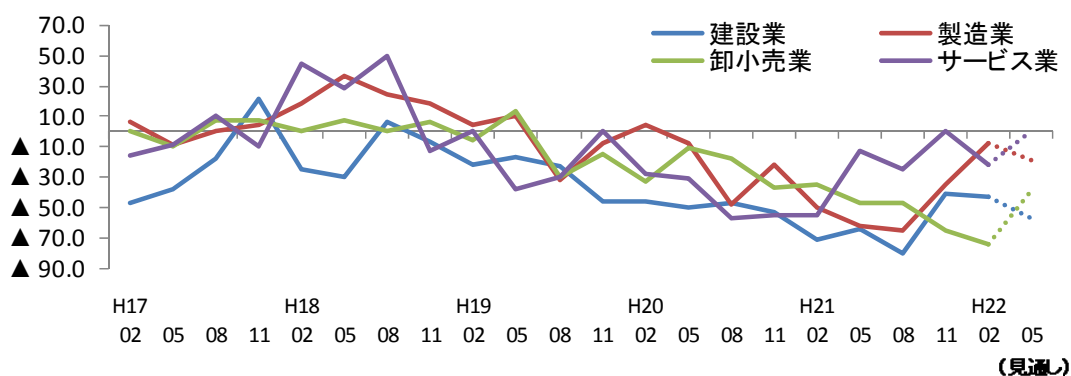
業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



④ 置賜

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況			
	(前期比)						建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.11	▲ 36.8	(▲ 19.7)	▲ 42.1	▲ 39.5	▲ 23.6	▲ 35.6	▲ 41.1	▲ 34.5	▲ 64.7	0.0
H 21.02	▲ 37.0	(▲ 32.8)	▲ 37.0	▲ 41.1	▲ 28.7	▲ 37.0	▲ 42.8	▲ 7.4	▲ 74.0	▲ 22.2
	変化幅	▲ 0.2 (▲ 13.1)	5.1	▲ 1.6	▲ 5.1	▲ 1.4	▲ 1.7	27.1	▲ 9.3	▲ 22.2
H 22.05	▲ 30.2	-	▲ 34.2	▲ 41.1	▲ 23.3	▲ 54.8	▲ 57.2	▲ 18.5	▲ 39.1	0.0
(見通し)	変化幅	6.8	-	2.8	0.0	5.4	▲ 17.8	▲ 11.1	34.9	22.2

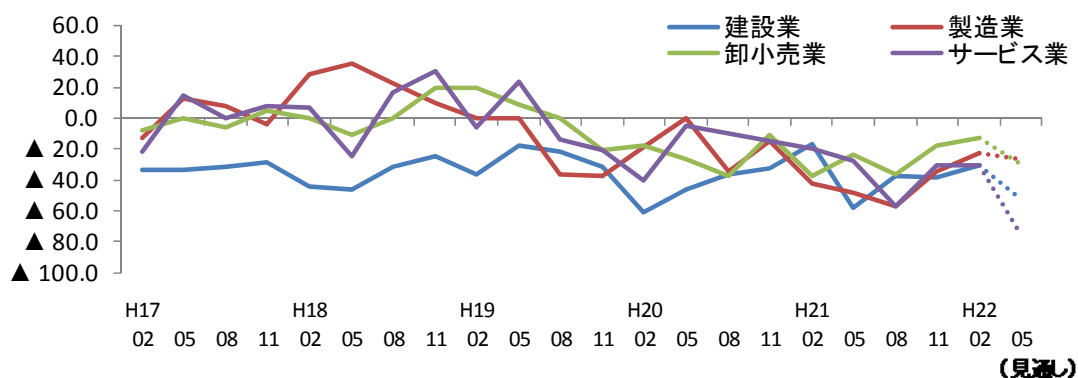
業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



⑤ 庄内田川

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況			
		(前期比)					建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.11	▲ 30.2	(▲ 16.3)	▲ 39.5	▲ 10.5	▲ 18.6	▲ 30.2	▲ 38.1	▲ 34.8	▲ 18.2	▲ 30.0
H 21.02	▲ 29.3	(▲ 28.1)	▲ 24.4	▲ 26.9	▲ 12.2	▲ 23.2	▲ 30.5	▲ 23.1	▲ 12.5	▲ 30.0
	変化幅	0.9 (▲ 11.8)	15.1	▲ 16.4	6.4	7.0	7.6	11.7	5.7	0.0
H 22.05	▲ 39.0	-	▲ 35.3	▲ 34.2	▲ 7.3	▲ 32.9	▲ 52.2	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 75.0
(見通し)	変化幅	▲ 9.7	-	▲ 10.9	▲ 7.3	4.9	▲ 9.7	▲ 21.7	▲ 3.9	▲ 16.7

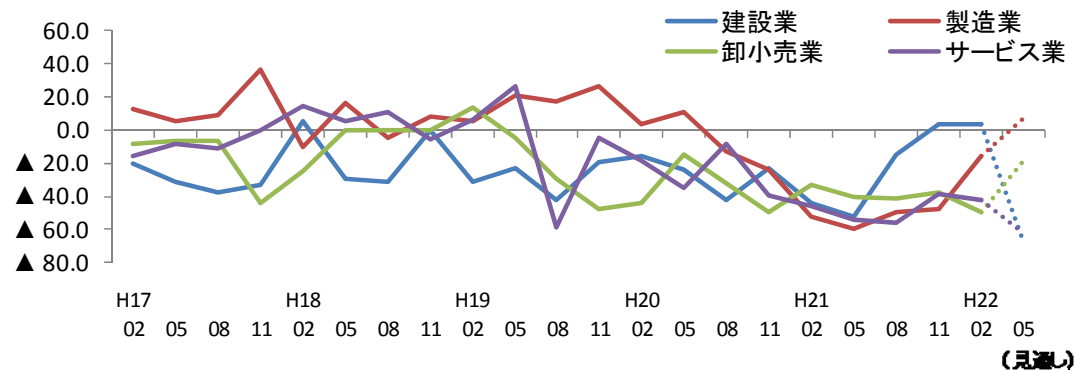
業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



⑥ 庄内飽海

(前年同期比) (調査時点)	自社業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別・自社業況			
		(前期比)					建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 21.11	▲ 29.3	(▲ 9.4)	▲ 31.2	▲ 27.3	▲ 6.6	▲ 20.7	3.5	▲ 48.2	▲ 37.5	▲ 38.5
H 21.02	▲ 21.8	(▲ 19.6)	▲ 23.0	▲ 25.3	▲ 9.2	▲ 16.1	4.0	▲ 15.4	▲ 50.0	▲ 42.5
	変化幅	7.5 (▲ 10.2)	8.2	2.0	▲ 2.6	4.6	0.5	32.8	▲ 12.5	▲ 4.0
H 22.05	▲ 32.2	-	▲ 24.2	▲ 20.7	▲ 1.1	▲ 25.3	▲ 68.0	7.7	▲ 18.2	▲ 62.5
(見通し)	変化幅	▲ 10.4	-	▲ 1.2	4.6	8.1	▲ 9.2	▲ 72.0	23.1	▲ 31.8

業種別「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



Ⅱ. 景気天気図

※ 天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」DI値（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI \geq 30	30>DI \geq 10	10>DI \geq ▲10	▲10>DI \geq ▲30	▲30>DI

◆ 前期の概況（平成21年11月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

◆ 今期の概況（平成22年2月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

◆ 来期の見通し（平成22年2月調査）

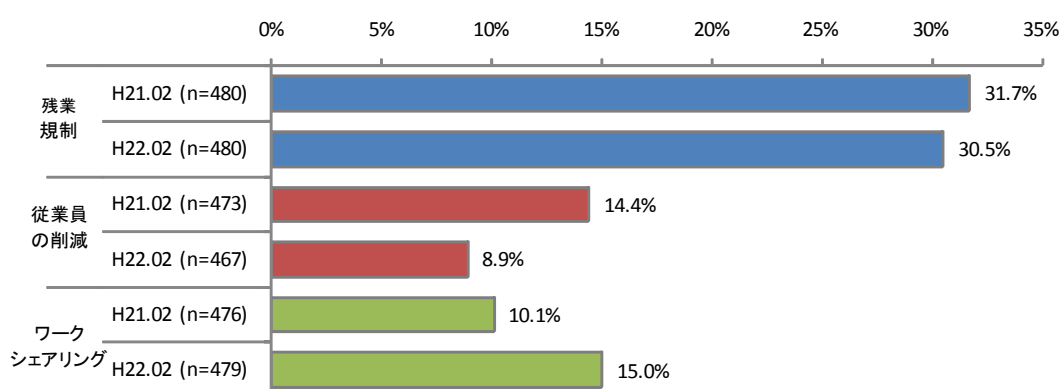
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

Ⅲ. 特別調査①：平成21年10月以降に実施した雇用調整について

県内企業の3割が「残業規制」を実施

平成21年10月以降に実施した（あるいは実施している）雇用調整の状況について尋ねた。最も回答率が高かったのは「残業規制」であり、回答企業の30.5%が実施した。また「従業員の削減」は回答企業の8.9%が実施し、前年同期比で5.5ポイント減少。「ワークシェアリング」は回答企業の15.0%が実施しており、前年同期比で4.9ポイント増加。雇用調整が「従業員の削減」から「ワークシェアリング」にシフトしてきている。

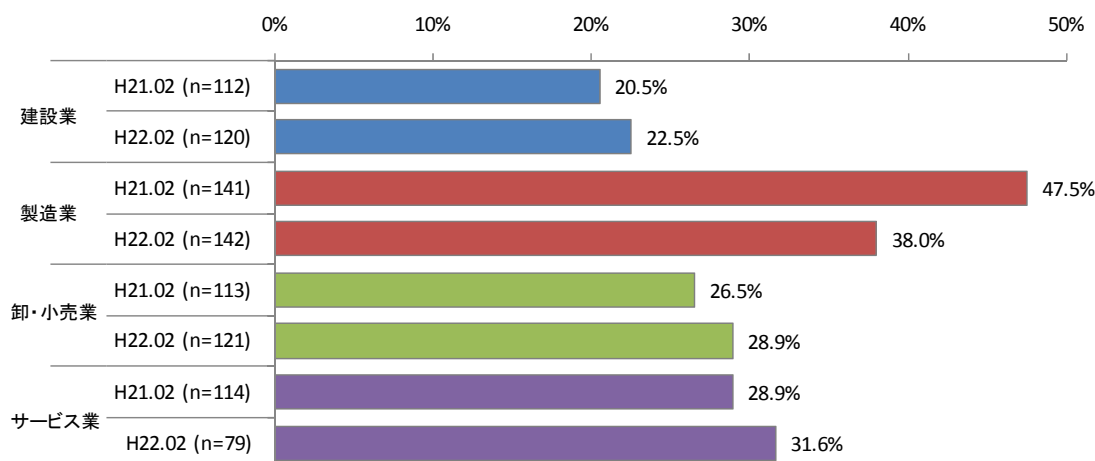
図表Ⅲ－1 雇用調整の実施状況



製造業の残業規制が特に顕著

業種別にみた残業規制の状況は、製造業が38.0%と最も高い割合を示していたが、前年同期比では9.5ポイント減少した。製造業のみ残業規制の割合が前年同期比で減少しており、業況回復に伴う需要増加への対応がうかがえる。

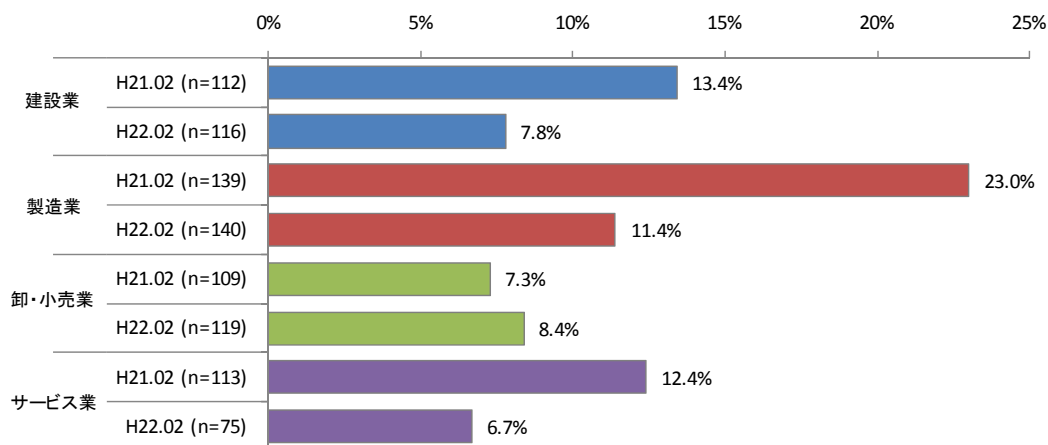
図表Ⅲ－2 残業規制の実施状況



「従業員の削減」から「ワークシェアリング」へ

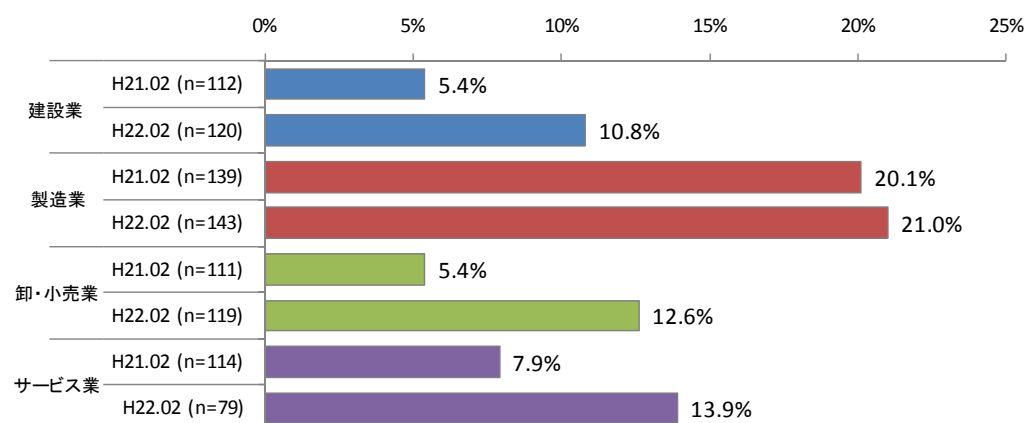
業種別に見た「従業員の削減」の状況は、建設業、製造業、サービス業において減少している。特に業況が回復基調である製造業においては前年同期に比べ 11.6 ポイントと大幅に減少している。

図表Ⅲ－3 「従業員の削減」の実施状況



一方、「ワークシェアリング」の実施は全業種において増加傾向にある。雇用調整において「従業員の削減」の実施が一段落し、現状の労働人員を維持しながら「ワークシェアリング」の実施で人員余剰に対応する企業が増えていることがうかがえる。

図表Ⅲ－4 「ワークシェアリング」の実施状況



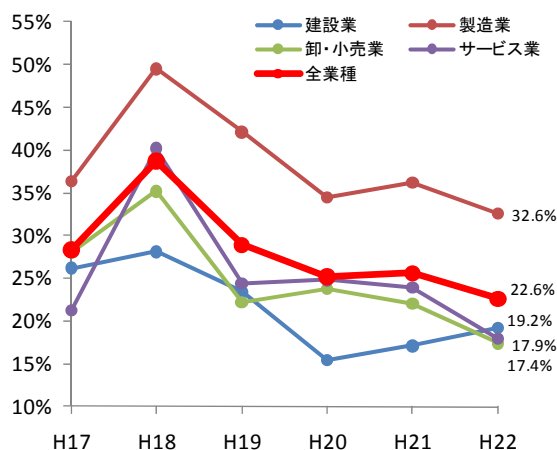
特別調査②：新規学卒者の採用状況について

新卒採用を実施した企業数は減少傾向

平成21年度の新規学卒者の採用状況について尋ねたところ、「採用した」と回答した企業は全業種で22.6%となっており、前年度よりも3.0ポイント低下。ほとんどの業種で採用状況は減少傾向にある。

一方、業種別の採用状況では製造業が最も多く、32.6%の企業が「採用した」と回答。

図表Ⅲ-5 新規採用した企業の推移

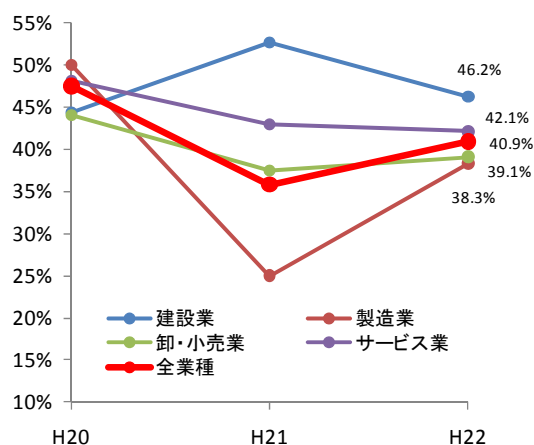


製造業で積極的に採用

採用を実施した企業に対して、昨年度と比べた新卒採用人数の状況を探した。「増やした」と回答した企業の割合は全業種で40.9%となっており、全体的に採用人数を増やした企業が多い。

また業種別では、製造業の回答企業が昨年度調査と比較して19.2ポイント上昇しており、最も積極的な採用を行っている。

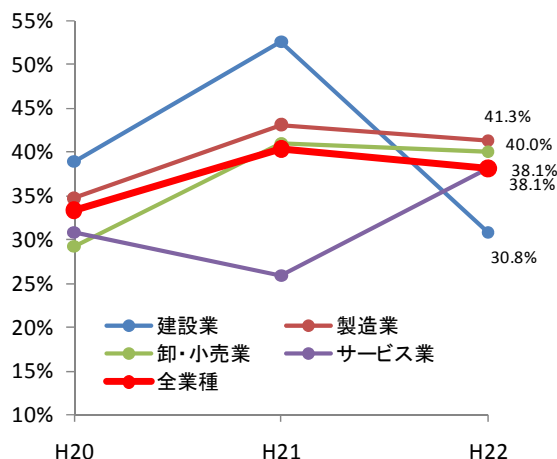
図表Ⅲ-6 採用を増加させた企業の推移



建設業で十分な人員確保できず

採用計画に比べて十分な人数が確保できたかどうかを探した。「十分確保できた」と回答した企業の割合は全業種で38.1%となっており、例年と同様に採用状況に関しては満足している企業が多かった。一方、建設業においては充足度が低く、新卒者を十分に確保できなかった。

図表Ⅲ-7 採用充足度の推移



IV. 調査の概要

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

平成22年2月1日（月）～15日（月）

● 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：894社

有効回答企業数：469社（回答率52.5%）

● 地域区分

図表IV-1の通り。

図表IV-1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表IV-2の通り。

図表IV-2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

V. 参考資料：基調判断用語の凡例

使用例：景気

<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>回復 (改善)</p> <p>上向き</p> <p>底離れ</p> <p>底入れ</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p> <p>拡張局面</p>	<p>景気は回復している</p> <p>景気は回復しつつある</p> <p>景気は回復の兆しがみられる</p> <p>景気は上向いている</p> <p>景気は上向きつつある</p> <p>景気は上向き兆しがみられる</p> <p>景気は底離れした</p> <p>景気は底離れしつつある</p> <p>景気は底離れの兆しがみられる</p> <p>景気は底入れした</p> <p>景気は底入れしつつある</p> <p>景気は底入れの兆しがみられる</p>
<p>横向き局面</p> <p>一服 → ↑↑↑↑ 一服 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>踊り場 → ↑↑ (先行き上昇期待大)</p> <p>一進一退 → (先行き上昇期待小)</p> <p>横ばい → ↓↓ 踊り場 : これまでの回復が止まり、横ばいとなっている</p> <p>伸び悩み → ↓↓↓↓ 一進一退 : 増減を繰り返しているが、水準は不変</p> <p>低迷 (低調) → 横ばい : 横ばいとなっている</p>	
<p>(DI 値)</p> <p>+100</p> <p>鈍化</p> <p>減速</p> <p>弱含み</p> <p>悪化 (減少)</p> <p>(時間軸)</p> <p>-100</p> <p>後退局面</p>	<p>景気は鈍化の兆しがみられる</p> <p>景気は鈍化しつつある</p> <p>景気は鈍化している</p> <p>景気は減速の兆しがみられる</p> <p>景気は減速しつつある</p> <p>景気は減速している</p> <p>景気は弱含みの兆しがみられる</p> <p>景気は弱含みつつある</p> <p>景気は弱含んでいる</p> <p>景気は悪化の兆しがみられる</p> <p>景気は悪化しつつある</p> <p>景気は悪化している</p>

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.sfsi.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本／梅木

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017

FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@sfsi.co.jp

URL : <http://www.sfsi.co.jp/>